



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

平地でも紅葉が進み、峠では初雪の便りが聞かれる時候となりました。昨年2月から日本中を支配してきた新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの普及のお陰か、一旦収束しています。このまま終息に向かうのか、あるいは新たな変異株の出現で第6波が襲って来るのか、固唾を呑んで見守る事になりますね。



どうやら完全に新型コロナウイルスが消え去ることはなく、季節性インフルエンザと同様に社会と共存することになるようです。それでも新たなワクチンや、経口治療薬が相次いで開発されてきており治療可能な病気になると思われます。そうとしても一人一人が感染対策には怠りなく過ごしましょう。

11月1日(月)よりインフルエンザワクチン接種の予約を開始いたします。

1階「診療予約コーナー」または「お電話」にてお申込ください。

0123-36-7555 (インフルが 予約担当)



新型コロナワクチンの接種予約につきましては お住まいの各市町村まで直接お問い合わせください

恵庭市ワクチン接種コールセンター
0123-29-7851

千歳市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
0570-023-600

北広島市ワクチン接種コールセンター
011-807-8018

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター
0120-306-154

厚生労働省

www.mhlw.go.jp



消費者庁

新型コロナ関連消費者向け情報
caa.go.jp



国民生活センター

新型コロナウイルス感染症関連
kokusen.go.jp



製品評価技術基盤機構

NITEが行う新型コロナウイルスに
対する消毒方法の有効性評価に関する情報公開
nite.go.jp



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院訪問リハビリ室のご紹介

在宅に訪問してリハビリを行っています。

介護保険もしくは、疾患によっては医療保険を利用し、
住み慣れた場所でリハビリを受けることができます。

恵み野病院 訪問リハビリ室（外来棟4階） 理学療法士 主任 奥山 洋平

様々な疾患に対応出来る
セラピスト3名が在籍し
ています。

- ・理学療法士 2名
- ・作業療法士 1名



訪問リハビリって何をするの？

- ・リハビリテーションですので病院やデイケアで行っているものと大きく変わりはありません。
- ・通院が難しくなってきた方には、訪問をして心臓リハビリなどを提供しています。
- ・基本的に在宅で生活が行えている方が多いですので、より広い視野で目標を設定しています。
- ・「退院後の生活が不安だ」、「もっとこんなことがしたい」、「高齢になっても諦めたくない」、「運動麻痺があるけど、もうちょっと腕を使いやすくしたい、歩き方をもう少し変えたい」「フレイルを予防したい」、こんな思いのある方お気軽に声を掛けて下さい。





◆今年の夏は暑かった！！

今年の夏は本当に暑く、まず利用者さんの体調を守らなければ・・・と奔走しました。

屋外も自宅内も30℃超の日々、リハビリする前に、「まずは水を飲みましょう！」嫌がられても言い続けました。冬になってもまた言います・・・ね。



◆運動だけじゃないですよ！！

訪問リハビリといっても、ただ淡々と運動をするだけではありません。

春には桜を見に散歩する・・・昔は夫婦で自由にお出かけ出来ていたのに・・・。近くの公園でパシャリ。遠くには一緒に行けませんが、皆さん喜んで下さいます。楽しくリハビリしましょう！！



恵み野病院院内薬局のご紹介

このコロナ禍、薬剤師の補充がなかなかできず、厳しい勤務体制となっていますが、医療従事者の一員として他職種と連携をとりながら日々業務にあたっています。

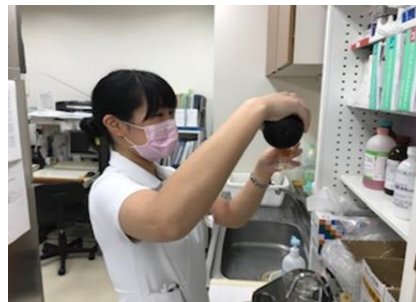
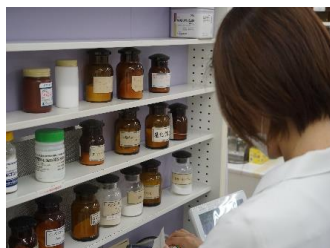
その院内薬局の業務内容について紹介させていただきます。

恵み野病院 薬局長 菊谷 安起

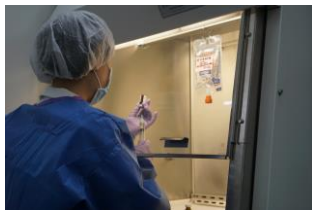
薬局人員 薬剤師9名(うち産休1名) 薬剤助手3名

当病院は、院外処方箋発行率がほぼ100%のため、病院内薬局では入院患者さん中心に**調剤・注射業務、病棟業務、DI業務、持参薬管理**などを行っています。

調剤業務 入院している患者さんの処方された薬の内容について、効能効果や用法用量、併用薬剤などを確認し調剤を行なっています。



注射業務 入院している患者さんに使用される注射剤の投与量や投与方法、投与期間、配合変化、カロリーなどを確認し、注射薬剤を病棟へ払い出しをしています。また、無菌室では外来患者さん、入院患者さんの抗がん剤を調製しています。



病棟業務 担当薬剤師がベッドサイドで患者さんに対し、効能効果や用法用量、副作用、注意点などについて説明しています。

また、他職種に対して薬剤についての情報提供を行っています。

さらにカンファレンスや回診に参加し、医師や看護師、ソーシャルワーカーなどと情報を共有し、チーム医療の一員として活動しています。

DI業務 医薬品の情報収集をおこない医師や看護師、その他のスタッフへの薬の情報提供などを行い患者さんに安全で効果的な治療を受けていただくために日々努力しています。

その他

糖尿病療養指導士がインスリン手技指導を行い、また糖尿病教室の講師として参加しています。

NST(栄養サポートチーム)、ICT(感染制御チームの一員として活動しています。

化学療法委員会や緩和ケア委員会、リスクマネジメント部会などの各委員会に参加しています。

薬学実習生の受け入れを行っています。

医薬品の情報収集や情報提供など、患者さんに安全で効果的な治療を受けていただくために日々努力しています。

薬に関することはスタッフにお気軽にご相談下さい。



NSTカンファレンス



ICTラウンド(巡回)



糖尿病教室

